

ワードプレス 応募ページの自動返信メール設定について

西：井上

ワードプレス 応募ページの自動返信メールについて、ワードプレスのセキュリティ向上がされたこと、合わせてスパムメール対策として google の reCAPTCHA V3 による、スパム対策の実施によりスパムの危険性は、低減されており、注意して使用するかぎりには、実用上問題が少ないと考えられる。

体験塾の応募者は、応募フォームから応募した際に、応募できたかどうか、本人には確認できないことへの対応として、自動返信メールを再開することとなった。

[対応策]

- ①応募ページのセキュリティ向上のための自動更新
- ②google の reCAPTCHA V3 導入とその自動更新
- ③終了した体験塾の問い合わせフォーム (contactform 7) は、速やかに消去する
- ④自動返信メールの文章はスパムで利用されやすい項目は載せない。

自動返信メールが送られる前に、会場係に応募のメールが入ることから、会場係には、応募の内容に問題があることはすぐに認識できるので、直ちに応募受付を一時的に終了するなどの対応を図る。

[自動返信メールの設定]

返信文として、これまでのように、応募内容確認のための設定はリスクが高くなることから、当面は以下の推奨文を自動返信メールとして送信することを基本とすることとするが、応募への迅速な対応が可能な体制を引いている会場は、この限りではない

[当面の推奨文]

このメールは「おもしろ科学たんけん工房」から送信しています。
おもしろ科学体験塾へのご応募を受付けました。
ご応募ありがとうございます。

なお、自動返信メールを再開する場合は、工房全体で再開しないと、応募者からみると、返信メールが返ってくる場合と、帰ってこない場合が生じ、応募の受付がされていないと思い、何回も応募してしまうことが生じてしまうため、工房全体で再開する必要がある。

具体的な自動返信メールの設定は、島崎さんの資料から引用します。

ここで、体験塾終了後の contactform 7 の削除時期を 1 か月以内としています。1 年に 1 度しか開催されない会場もあることから、体験塾終了後の削除時期はその会場で開催される次の体験塾の HP を日程表にアップした後に、前回分を削除してください。なお、藤沢で実施されているひな型を作成している場合はこの限りではなく、体験塾終了後、1 か月程度で削除してください。